

製品名: 14-3-3-pan (アセチル Lys51/49) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06168**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	アセチル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	30kDa

抗原情報

遺伝子名	YWHAB YWHAB; 14-3-3 protein beta/alpha; Protein 1054; Protein kinase C inhibitor protein 1; KCIP-1; YWHAG; 14-3-3 protein gamma; Protein kinase C inhibitor protein 1; KCIP-1; YWHAQ; 14-
別名	3-3 protein theta; 14-3-3 protein T-cell; 14-3-3 protein tau; Protein HS1; YWHAZ; 14-3-3 protein zeta/delta; Protein kinase C inhibitor protein 1; KCIP-1; SFN; HME1; 14-3-3 protein sigma; Epithelial cell marker protein 1; Stratifin
遺伝子 ID	7529.0
SwissProt ID	P31946
免疫原	K51 のアセチル化部位の周囲にヒト 14-3-3-pan から派生した合成アセチルペプチド。

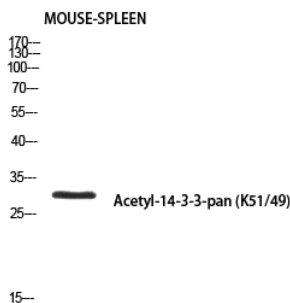
背景

この遺伝子は、14-3-3ファミリーに属するタンパク質をコードしており、このファミリーのメンバーは、ホスホセリン含有タンパク質に結合してシグナル伝達を媒介します。この高度に保存されたタンパク質ファミリーは、植物と哺乳類の両方に見られます。コードされているタンパク質は、RAF1 および CDC25 ホスファターゼと相互作用することが示されており、このタンパク質が細胞分裂促進シグナル伝達と細胞周期機構を結びつける役割を果たしている可能性を示唆しています。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする2つの転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: 広範囲の一般および特殊なシグナル伝達経路の調節に関与するアダプタータンパク質。通常はホスホセリンまたはホスホトレオニンモチーフを認識することで、多数のパートナーと結合します。結合は通常、結合パートナーの活性の変調をもたらします。骨形成の負の調節因子。、PTM:アイソフォームショートは、1位にN-アセチルメチオニンを含む。、PTM:脳特異的なα型は、β型とは異なり、リン酸化される。、類似性:14-3-3ファミリーに属する。、細胞内局在:質量分析により、ステージIからステージIVまでのメラノソーム分画で同定された。、サブユニット:ホモ二量体。SSH1 および TORC2/CRTC2 と相互作用する。ABL1 と相互作用し、その結果 ABL1 は細胞質内に局在し、cABL を介したアポトーシスが阻害される。ROR2 (二量体) と相互作用し、その結果 YWHAB のチロシン残基がリン酸化される。、

研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;卵母細胞減数分裂;神経栄養因子;

画像データ



アセチル-14-3-3-pan (K51/49) 抗体を用いたマウス脾臓のウェスタンブロット解析。
抗体は 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。